

令和5年度 学校だより



丘の学び舎

所沢市立上新井小学校
2月号
児童数 737名
校長 伊藤 公雄

<大寒から立春へ>

プールの氷を見て、今日の寒さを占っています。凍らない日があつたり、早く溶けてしまつたりする日もあります。学校のフェンス周りでは、茎をのぼしているスイセンの開花はそろそろでしょうか。春の訪れは、もうすぐのようです。



■下校の仕方を変更します。

登校班について、担当教員による班員からの現状を聞き取る時間を確保し、十分な指導ができるよう、一斉下校を中断し、各教室での指導を続けてきました。

来年度も同様に、年4回の登校班指導を計画していますが、以前のように下校時に、登校班で一斉に帰ることはしません。

また、下校の時、学年が上がるにつれて、下校班を作っていません。来年度は、3年生から下校班を編成せず、1人にならないように留意しながら、近くの友達と帰るよう指導していきます。

そこで、この3学期は移行期間とし、2年生以上で、練習を始めていきます。ご自宅の近くの友達と仲良く安全に帰れるよう、伝えていきます。

しかし、いくら仲良しだからと言って、2列、3列になって歩くのは危険です。地域の方から、お叱りをいただくほどであり、学校でも課題と捉え、指導を繰り返しています。安全面について、お子さんへの声かけをお願いします。

なお、この件については、PTA 運営委員会で伝えてきましたが、次の懇談会で担任より話をさせていただきます。

■もしもに備えた安全点検を

能登半島の地震、飛行機火災が続く、安全が当たり前ではなく、危機意識は常に持っていなければいけないと、改めてその思い

を強くしました。

「自助、共助、公助」と言われますが、報道されているように助け合いの文化や日本の精神性は、誇り高いものです。

「自助」という点では、自宅の非常持ち出しリュックを確認してみました。一部の品で、ローリングストックが中断していましたが、賞味期限はまだ大丈夫でした。皆さんはいかがですか。

また、火災の発生した飛行機から、全員脱出できた奇跡に対して、機長やCAを称賛する声も上がっていますが、367名の乗員の適切な避難行動も忘れてはいけません。

「お・か・し・も」は、小学校で繰り返し指導している内容です。その効果が、こういった時に表れると言ったら、言い過ぎでしょうか。

本校では、来年度も避難訓練の計画を立てています。もしもに備え、避難の基本行動を繰り返し学んでいきます。

なお、3学期の避難訓練は、学年の発達段階に応じて、日時を子供に伝えずに実施します。

Tetoru 配信した場合、お手元のスマホでも読みやすくなるよう、レイアウトを変更してみました。(再掲)

※[学校ブログ](#) (学校 HP へ) をご覧ください。
「いいね」を励みに更新中です。